

日本人運転者による 乗用車レンタカーの死亡・重傷事故の 特徴と事故防止策

研究部 主任研究員
佐々木 則幸



目次

1. 背景・目的
2. 運転者の特徴
3. 死亡・重傷事故の特徴
4. 死亡・重傷事故の防止策

目次

1. 背景・目的

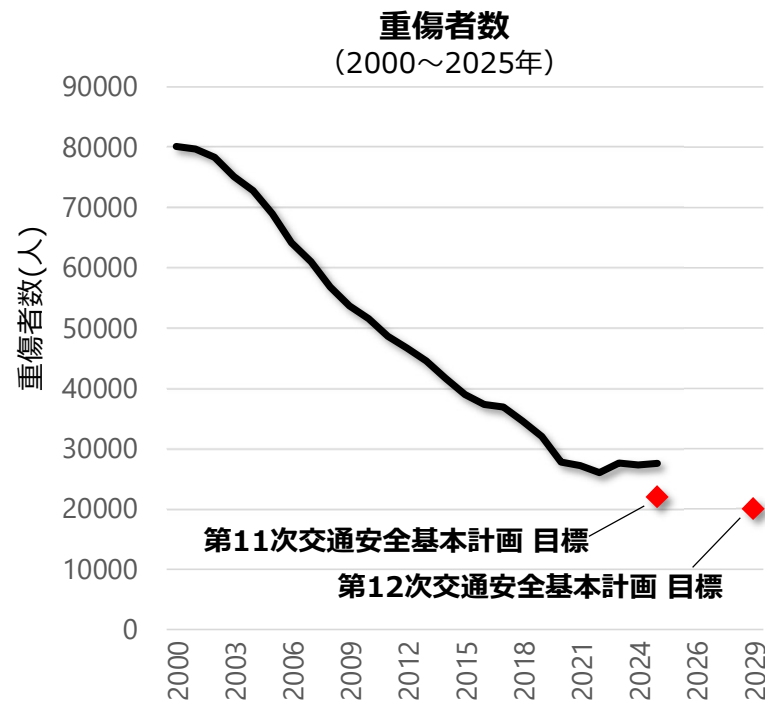
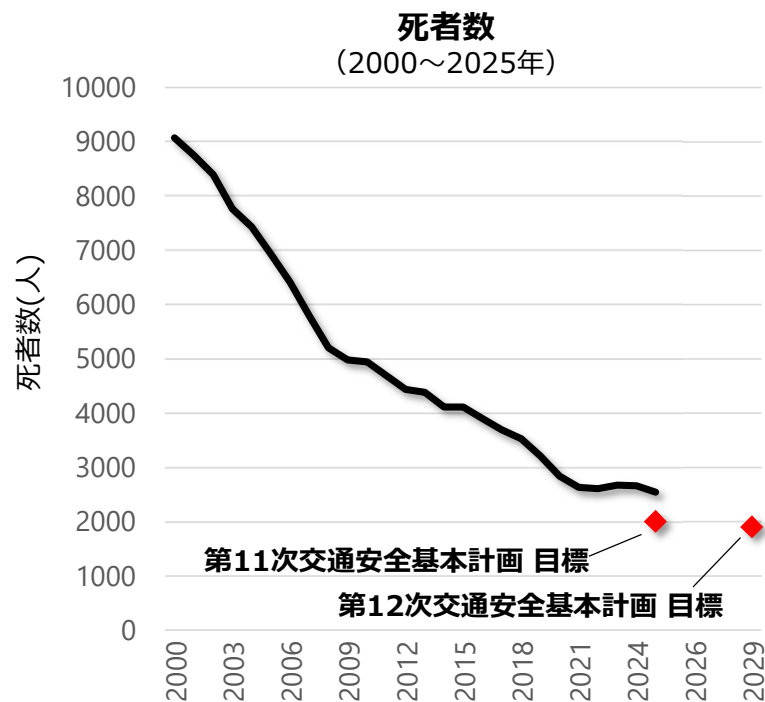
2. 運転者の特徴

3. 死亡・重傷事故の特徴

4. 死亡・重傷事故の防止策

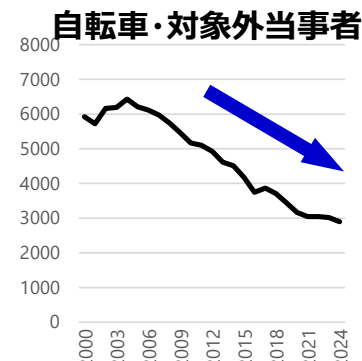
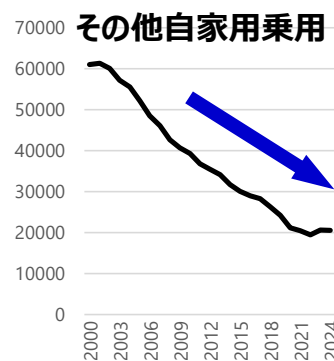
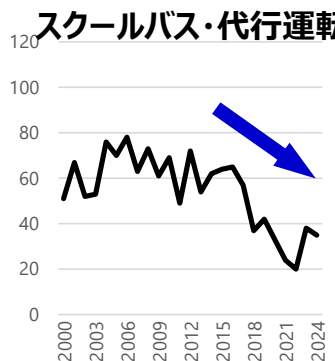
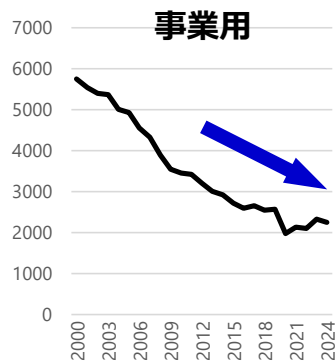
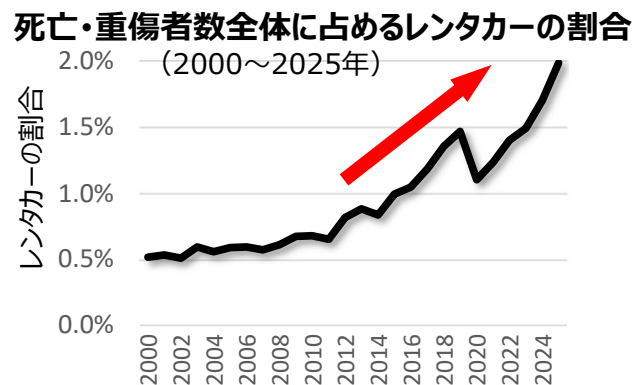
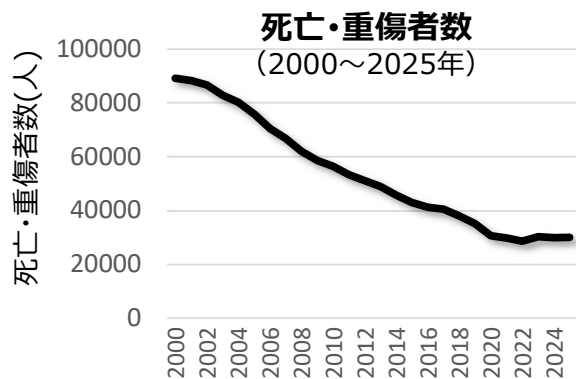
1. 背景・目的

- 背景
- ・ 交通事故では被害の重大性から、死亡や重傷となる人の削減が重要である。
 - ・ 死者数および重傷者数は、交通安全基本計画において数値目標が設定されており、政府主導の交通安全施策の推進により、長期的には減少傾向にある。しかしながら、近年は下げ止まりの傾向がみられ、目標達成に至っていない。



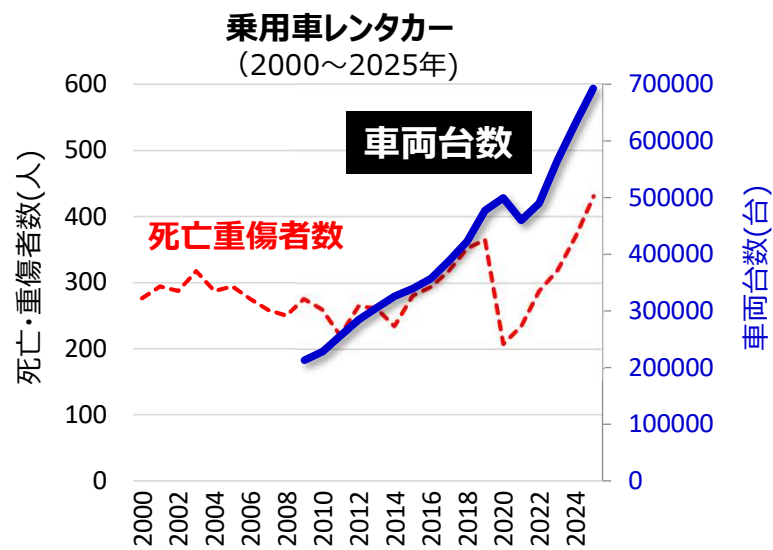
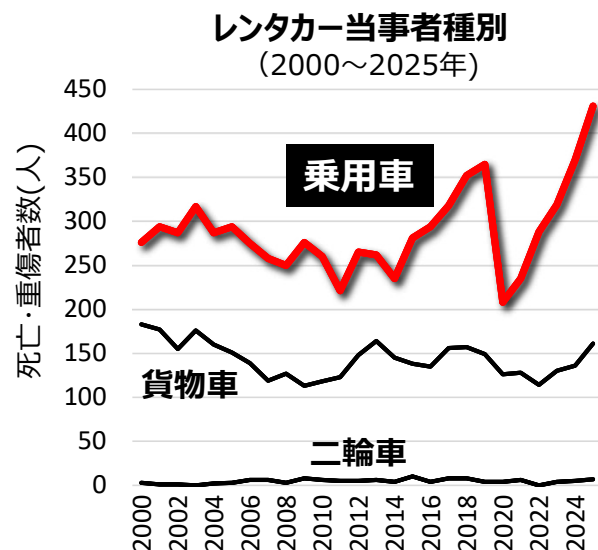
1. 背景・目的

- 背景
- ・ 死亡・重傷者数の更なる削減には、減少が進んでいない項目を洗い出し、重点的に対策を講じる必要がある。
- ・ 死亡・重傷者数の推移を第1当事者の用途別にみると、レンタカーのみが減少しておらず、死亡・重傷者数全体に占める割合が年々増加している。



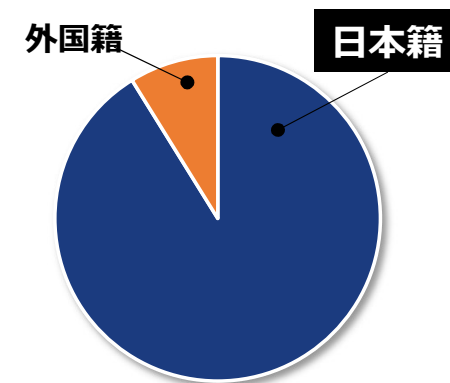
1. 背景・目的

- 背景
 - ・ レンタカーの当事者種別では、乗用車の死亡・重傷者数が増加している。背景として、車両台数の増加が考えられる。
 - ・ 昨今、訪日外国人によるレンタカー事故が注目されているものの、運転者の大半は日本人であることから、日本人運転者の事故実態把握が不可欠である。



車両台数出典：
一般社団法人全国レンタカー協会

1 当乗用車レンタカー運転者の
国籍別死亡重傷事故件数
(2016～2025年)



1. 背景・目的

- 目的 ・ 日本人運転者による乗用車レンタカーの死亡・重傷事故の特徴を明らかにし、その結果を踏まえた事故防止策を検討することで、死亡・重傷者数削減に貢献する。

分析対象：2016～2025年 第1当事者が乗用車の死亡・重傷事故

- ・ 自家用車事故 188749件（全国籍）
- ・ 日本人によるレンタカー事故 2571件
- ・ レンタカーには、事業者型カーシェアリングを含む。

目次

1. 背景・目的

2. 運転者の特徴

3. 死亡・重傷事故の特徴

4. 死亡・重傷事故の防止策

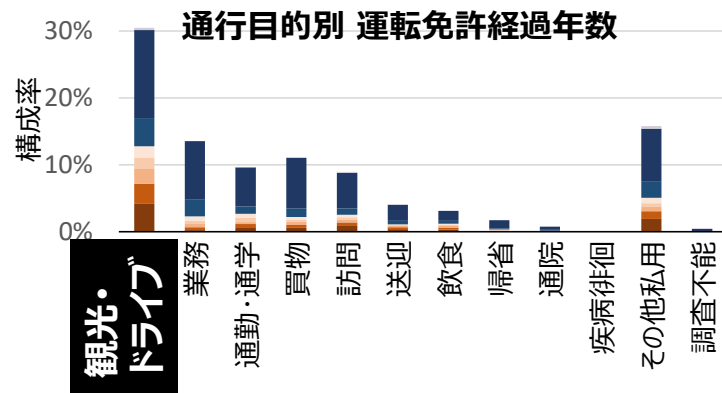
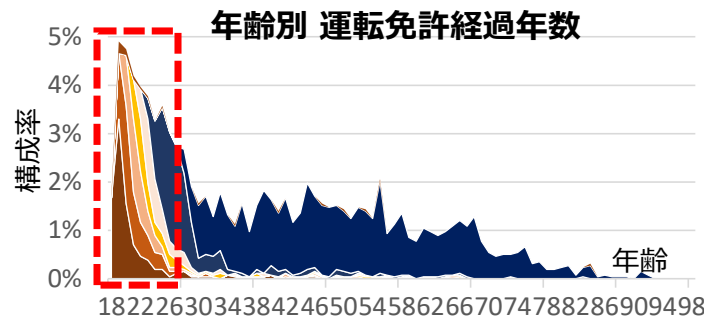
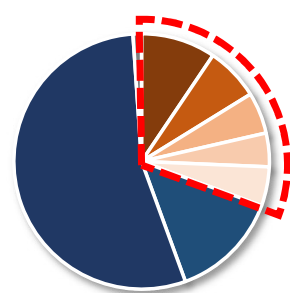
2. 運転者の特徴

レンタカー運転者と自家用車運転者との差異を事故データから洗い出し、2つの特徴を抽出した。

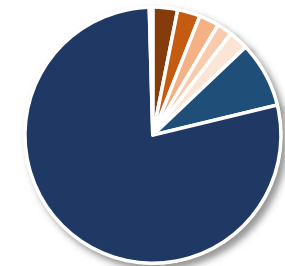
- ・レンタカー運転者は自家用車運転者と比べ、若年層の構成率が高く、その結果、運転免許経過年数が短い者の構成率が高い。特に、通行目的が観光・ドライブで顕著である。

レンタカー運転者

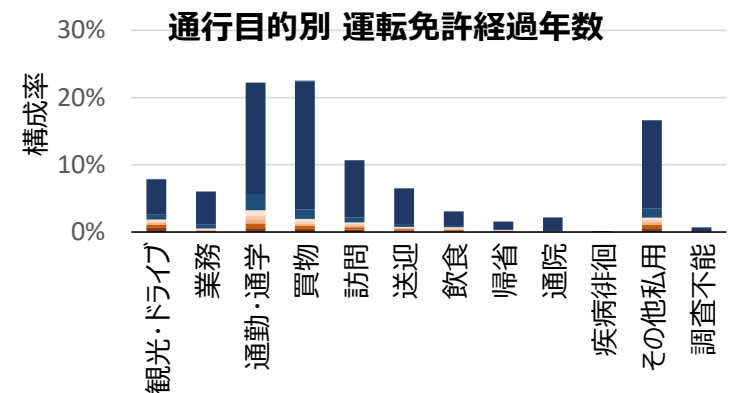
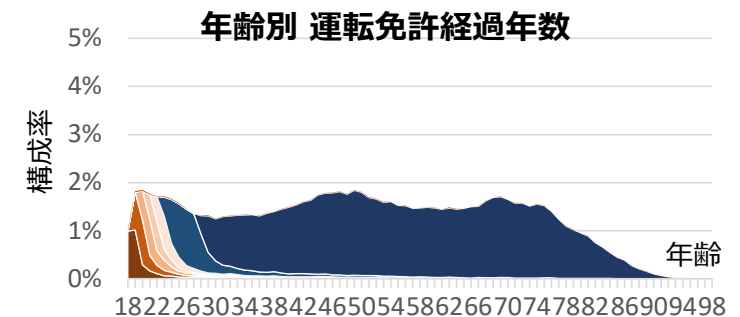
運転免許経過年数



運転免許経過年数



自家用車運転者

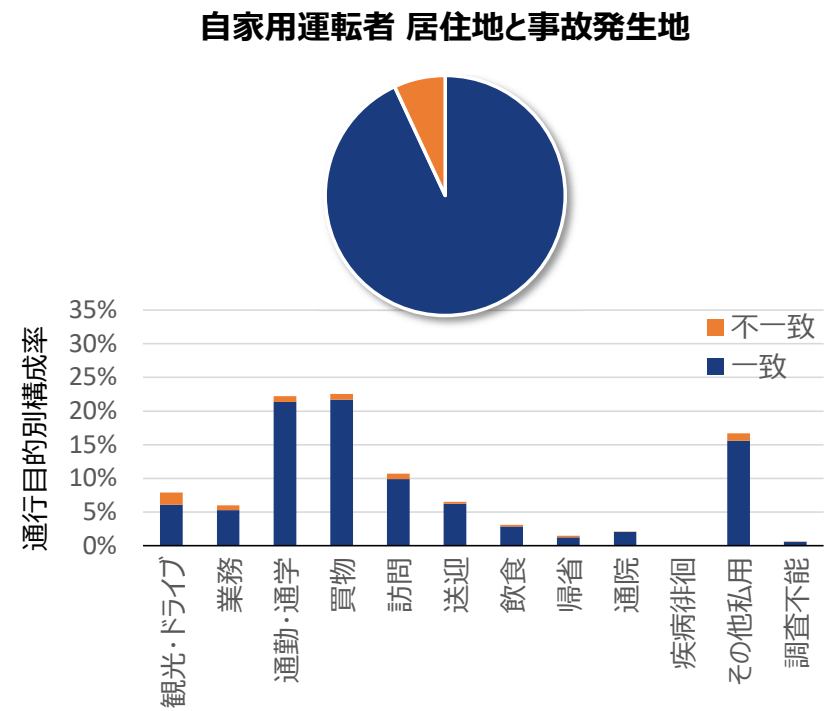
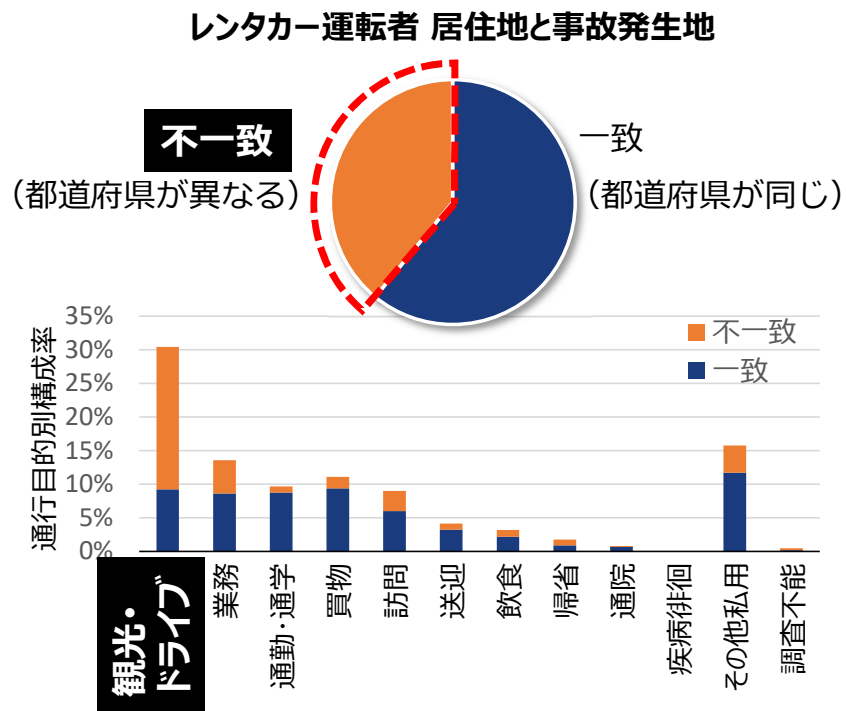


免許外無免許等
 10年以上
 10年未満
 5年未満
 4年未満
 3年未満
 2年未満
 1年未満

2. 運転者の特徴

レンタカー運転者と自家用車運転者との差異を事故データから洗い出し、2つの特徴を抽出した。

- ・レンタカー運転者は自家用車運転者と比べ、居住地と事故発生地の都道府県が異なる者の構成率が高い。特に、通行目的が観光・ドライブで顕著である。



目次

1. 背景・目的
2. 運転者の特徴
- 3. 死亡・重傷事故の特徴**
4. 死亡・重傷事故の防止策

3. 死亡・重傷事故の特徴

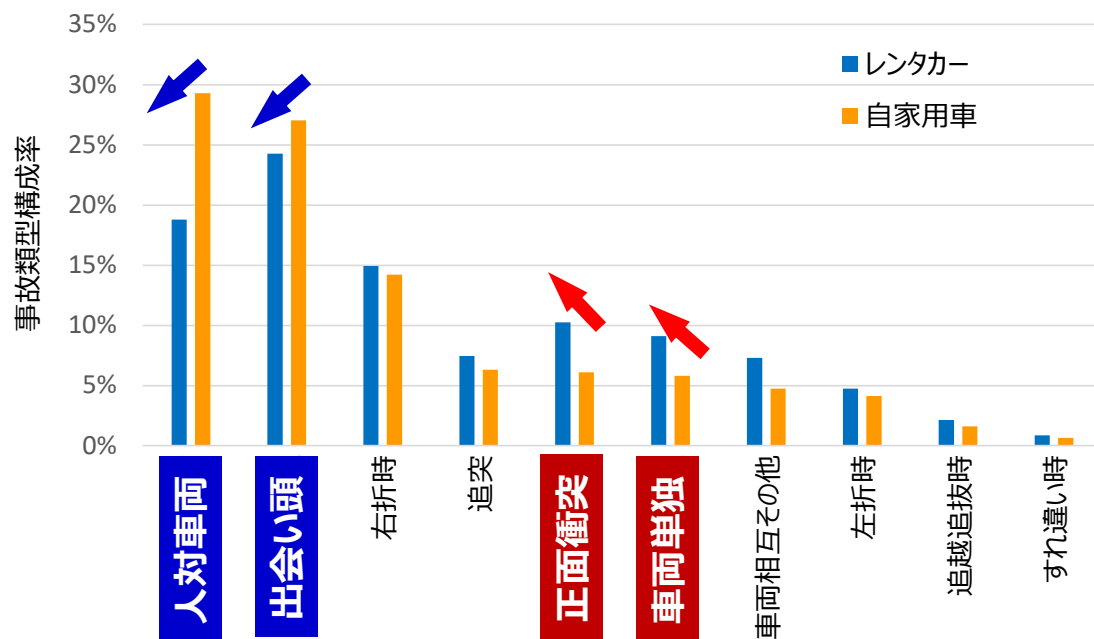
3.1 事故実態

- ・ レンタカーと自家用車とで、事故類型・人的要因の各構成率に差異がある。

■ 事故類型

レンタカーは自家用車に比べ、

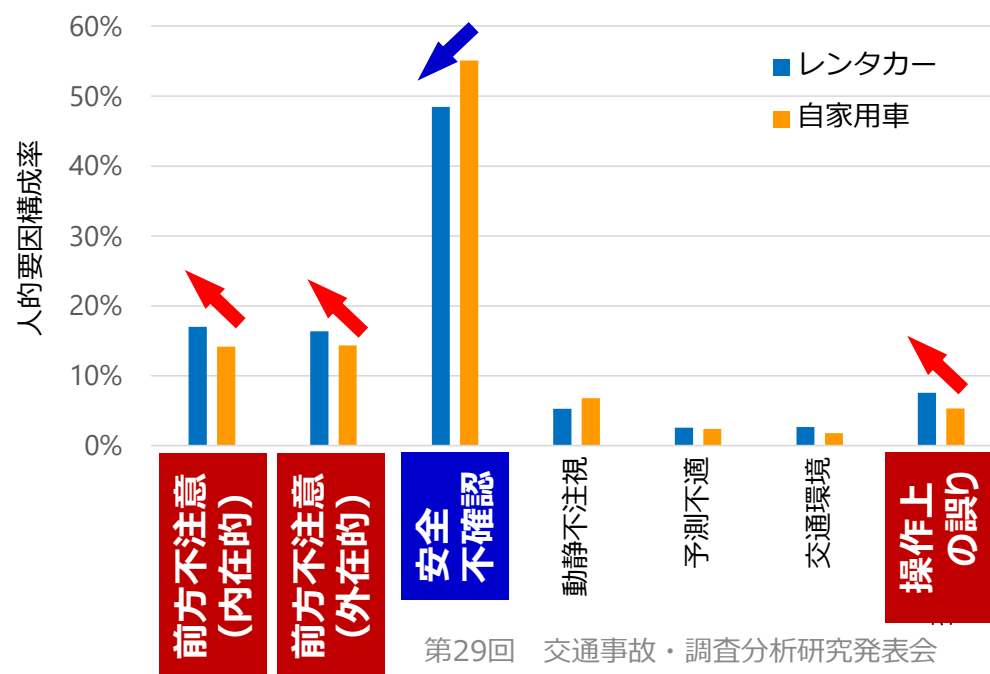
- ・ 正面衝突、車両単独 が高い
- ・ 人対車両、出会い頭 が低い



■ 人的要因

レンタカーは自家用車に比べ、

- ・ 前方不注意、操作上の誤り が高い
- ・ 安全不確認 が低い



3. 死亡・重傷事故の特徴

3.1 事故実態

- ・ レンタカーと自家用車とで、事故類型・人的要因の各構成率に差異がある。
- ・ レンタカーの事故防止策を検討するには、これらの差異が生じる背景を明らかにする必要がある。



- ・ 検討の進め方
差異が生じる背景として、以下のレンタカー運転者の特徴と事故類型・人的要因との関連性の有無を確認する。
 - ・ 運転免許経過年数が短い者の構成率が高い
 - ・ 居住地と事故発生地の都道府県が異なる者の構成率が高い
- ・ 確認の方法
レンタカー事故データには、運転者の特徴とは無関係なレンタカー特有の要因が含まれている可能性がある。
そのため、レンタカー事故とは関係がない自家用車運転者のデータを用いる。
運転者の特徴と事故類型・人的要因との関連性を抽出し、これをレンタカーと自家用車との間で生じている差異と比較する。

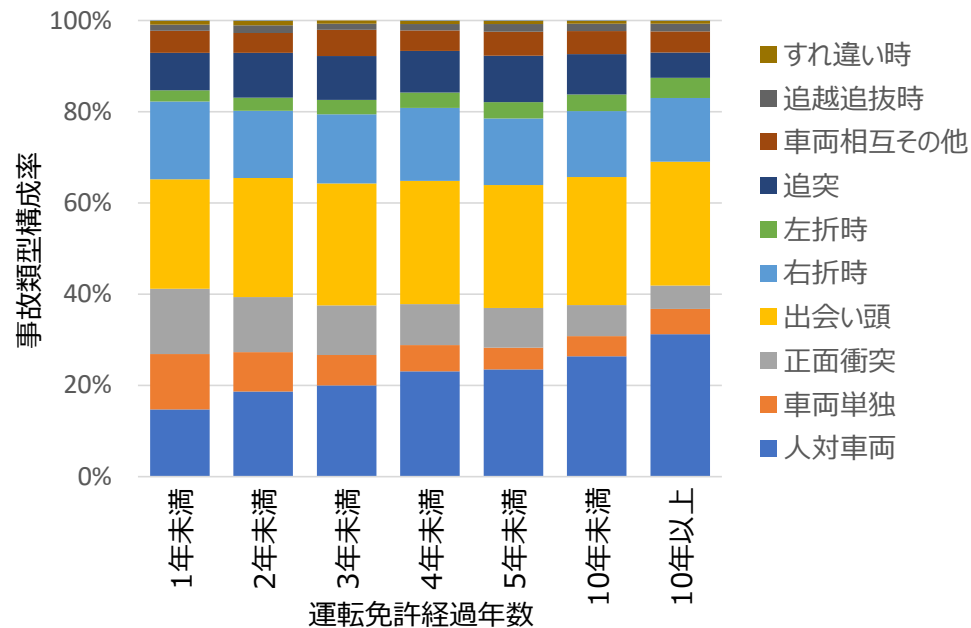
3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

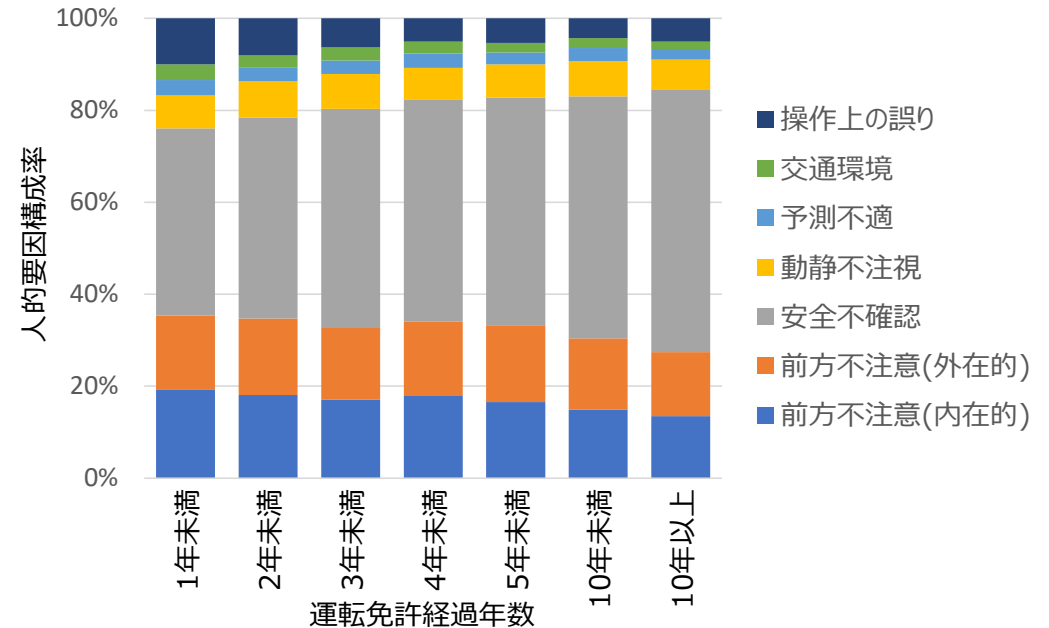
3.2.1 運転免許経過年数の影響（自家用車運転者データ）

運転免許経過年数に伴い、各項目の構成率が変化している。

■ 事故類型



■ 人的要因



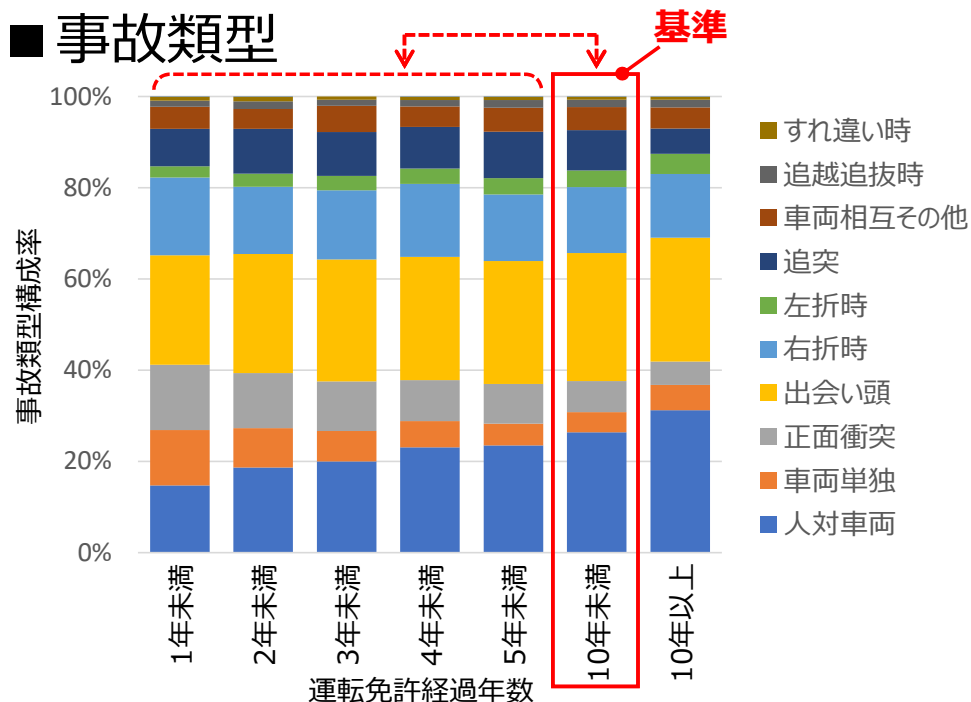
3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

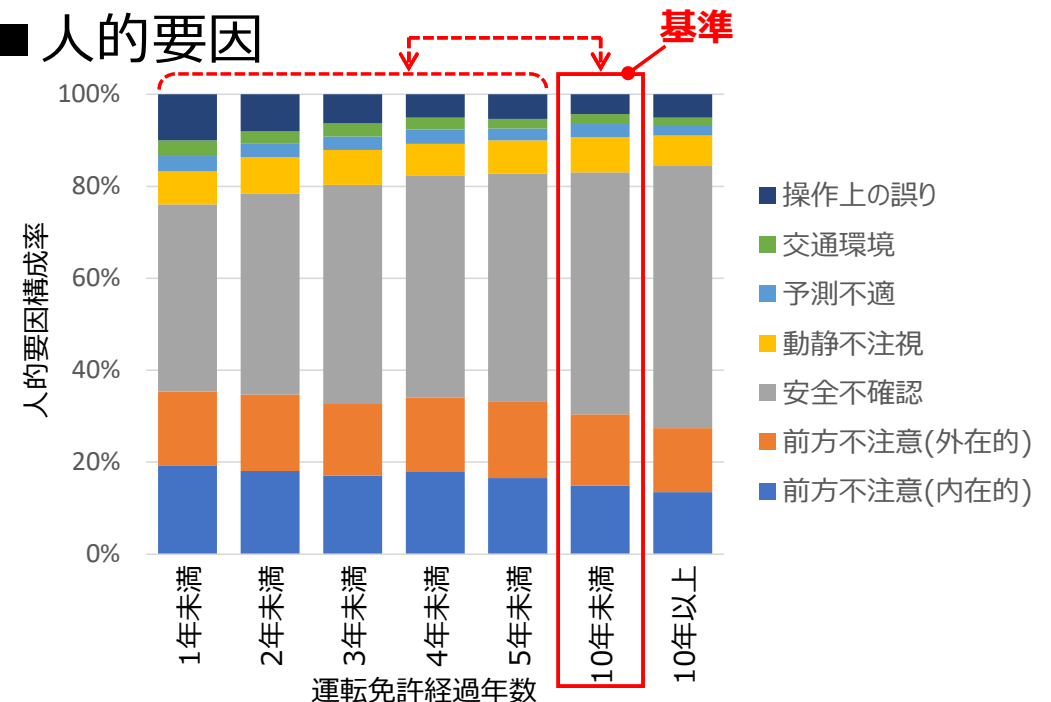
3.2.1 運転免許経過年数の影響（自家用車運転者データ）

運転免許経過年数に伴い、各項目の構成率が変化している。

■ 事故類型



■ 人的要因



各項目の構成率の変化を、「運転免許経過年数5年以上10年未満の構成率」を基準として、「運転免許経過年数毎の構成率」との差で示す。

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

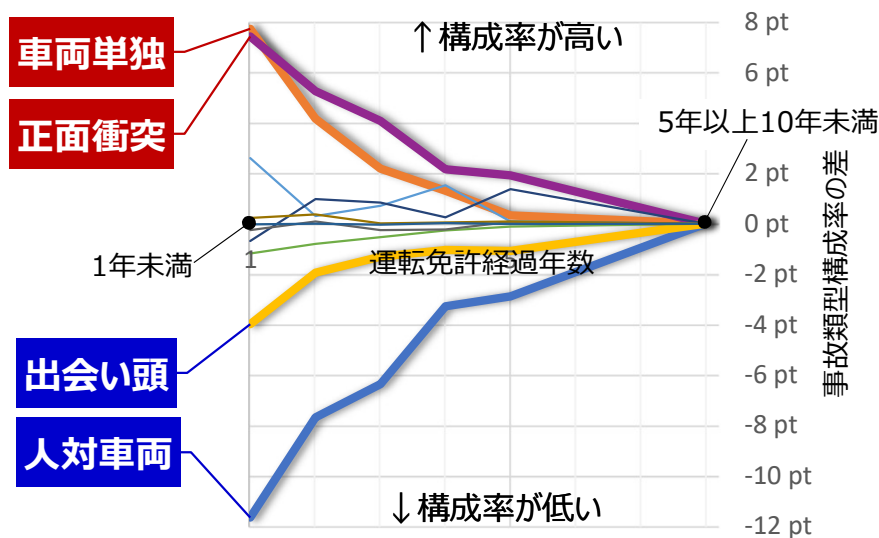
3.2.1 運転免許経過年数の影響（自家用車運転者データ）

運転免許経過年数5年以上10年未満を基準とした、運転免許経過年数に伴う変化

■ 事故類型

運転免許経過年数が短いほど、

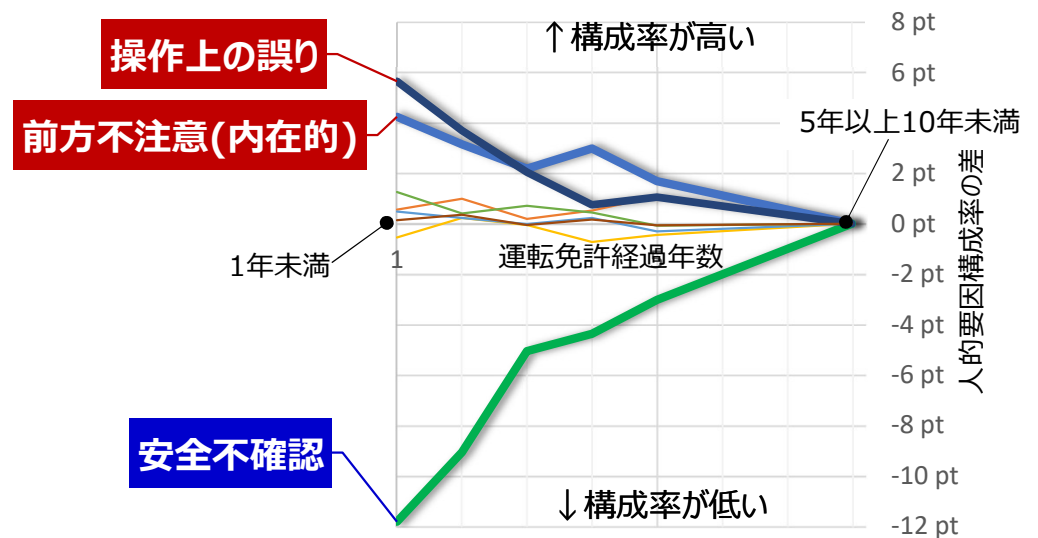
- ・ 車両単独、正面衝突 が高い
- ・ 人対車両、出会い頭 が低い



■ 人的要因

運転免許経過年数が短いほど、

- ・ 操作上の誤り、前方不注意(内在的) が高い
- ・ 安全不確認 が低い



3. 死亡・重傷事故の特徴

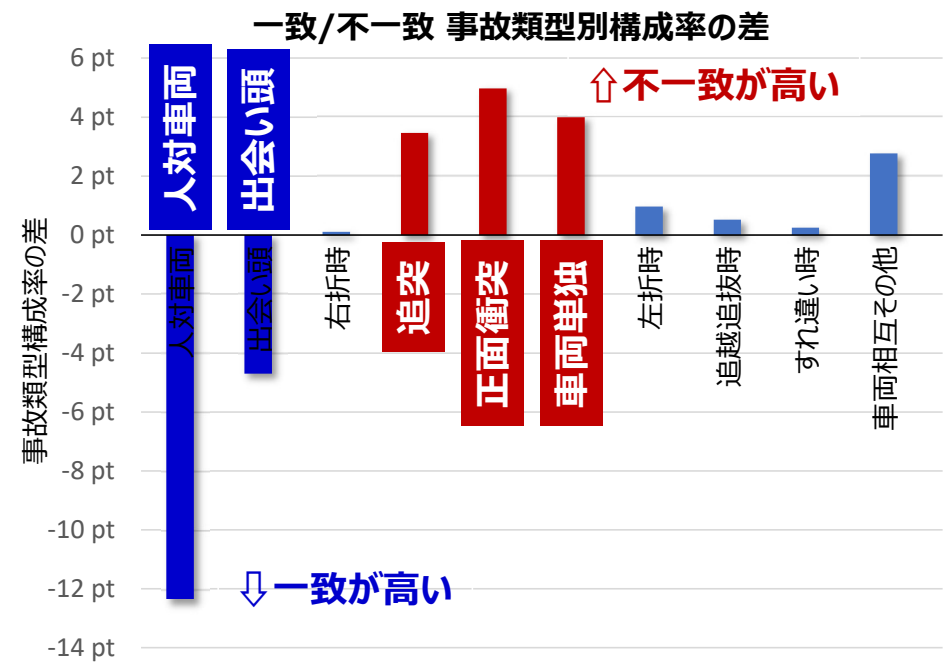
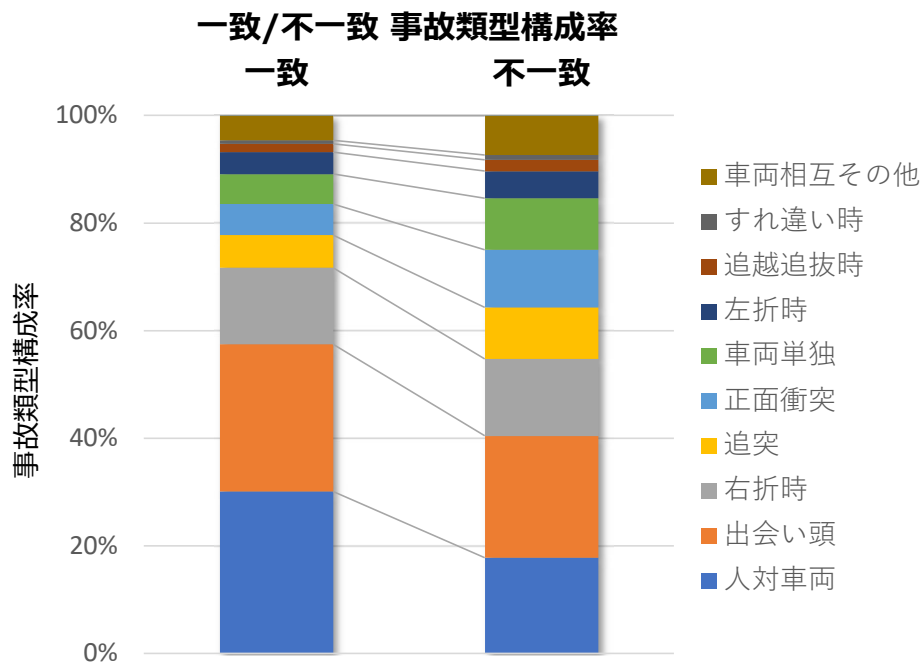
3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.2 居住地と事故発生地の一致/不一致の影響（自家用車運転者データ）

■ 事故類型

一致/不一致で、事故類型の構成率に差異がある。

- ・「一致」が高い事故類型：人対車両、出会い頭
- ・「不一致」が高い事故類型：追突、正面衝突、車両単独



3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.2 居住地と事故発生地の一致/不一致の影響（自家用車運転者データ）

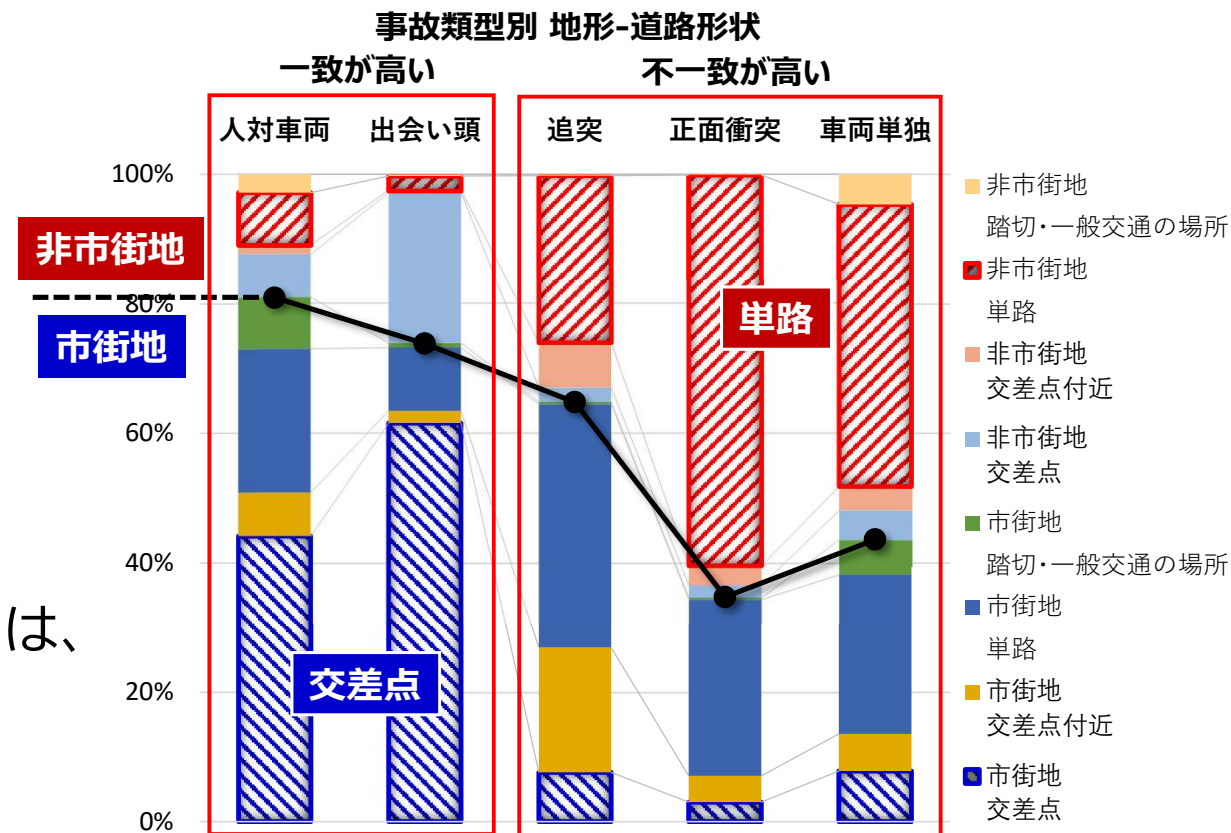
■ 事故類型

地形および道路形状との関係

- ・「一致」が高い事故類型：
市街地の交差点 の構成率が高い
- ・「不一致」が高い事故類型：
非市街地の単路 の構成率が高い



遠距離移動が伴う「不一致」と、
そうではないケースを含む「一致」とでは、
通行する道路環境に違いがある。



3. 死亡・重傷事故の特徴

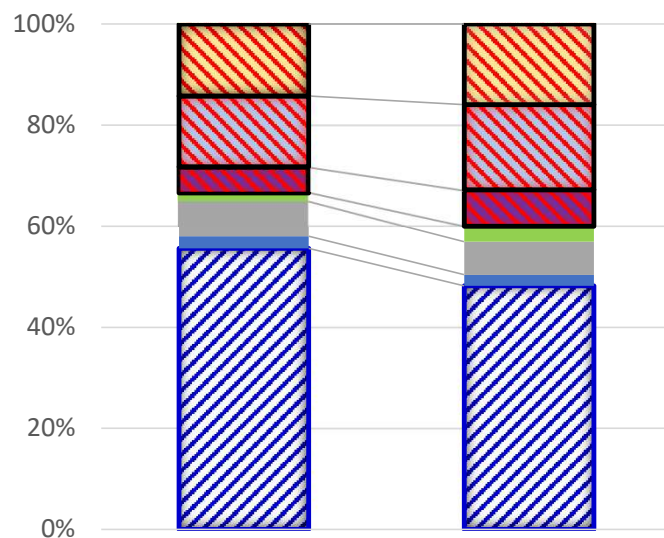
3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.2 居住地と事故発生地の一致/不一致の影響（自家用車運転者データ）

■ 人的要因

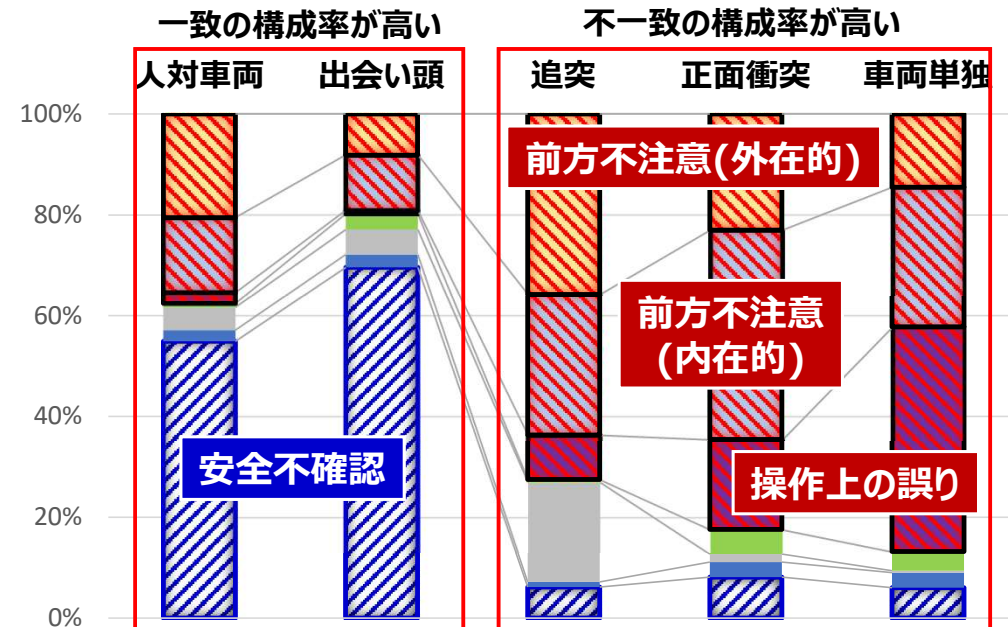
- ・「一致」が高い(市街地の交差点が高い)事故類型：安全不確認 が高い
- ・「不一致」が高い(非市街地の単路が高い)事故類型：操作上の誤り、前方不注意 が高い
- ・一致/不一致 各全体にも上記の傾向が表れている。

居住地-事故発生地と人的要因
一致 不一致



■ 前方不注意(外在的)
■ 前方不注意(内在的)
■ 操作上の誤り
■ 交通環境
■ 動静不注視
■ 予測不適
■ 安全不確認

事故類型と人的要因

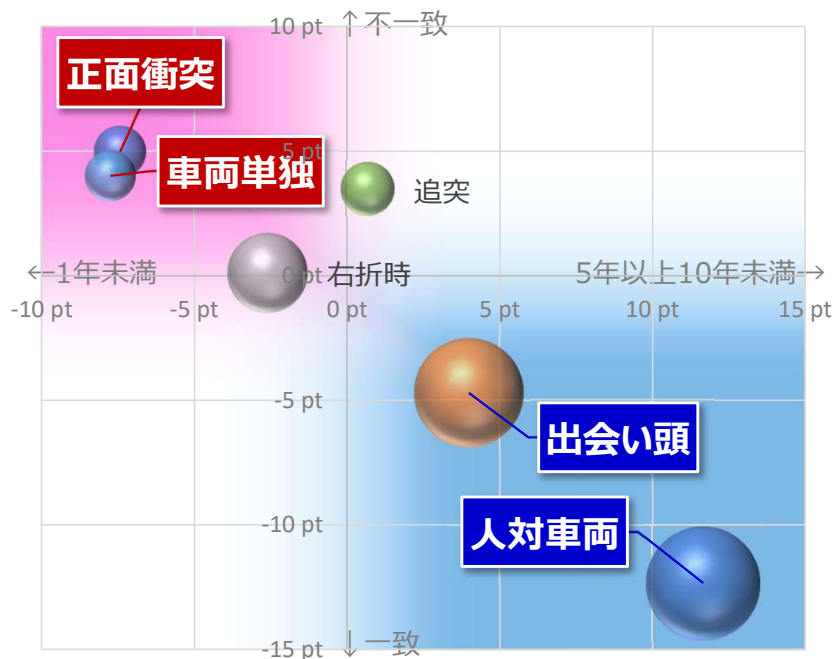


3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.3 運転者の特徴と事故との関連性確認

■ 事故類型



自家用車運転者データ

- ・ 運転免許経過年数が短く、居住地と事故発生地の不一致が高い

→ 正面衝突、車両単独 が高い

- ・ 運転免許経過年数が短くなく、居住地と事故発生地の一致が高い

→ 人対車両、出会い頭 が高い

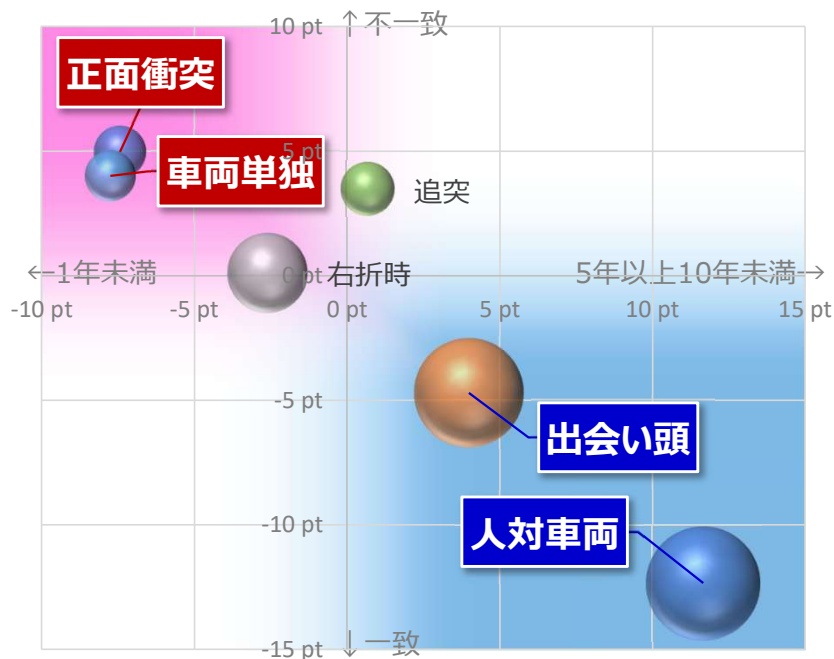
- ・ 横軸：運転免許経過年数（「5年以上10年未満の構成率」－「1年未満の構成率」）
- ・ 縦軸：居住地と事故発生地（「不一致の構成率」－「一致構成率」）
- ・ バブルサイズ：自家用車の死亡重傷事故件数

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.3 運転者の特徴と事故との関連性確認

■ 事故類型



自家用車運転者データ

- ・ 運転免許経過年数が短く、
居住地と事故発生地の不一致が高い
= 自家用車運転者に対するレンタカー運転者の特徴
→ **正面衝突、車両単独** が高い
- ・ 運転免許経過年数が短くなく、
居住地と事故発生地の一致が高い
= レンタカー運転者に対する自家用車運転者の特徴
→ **人対車両、出会い頭** が高い

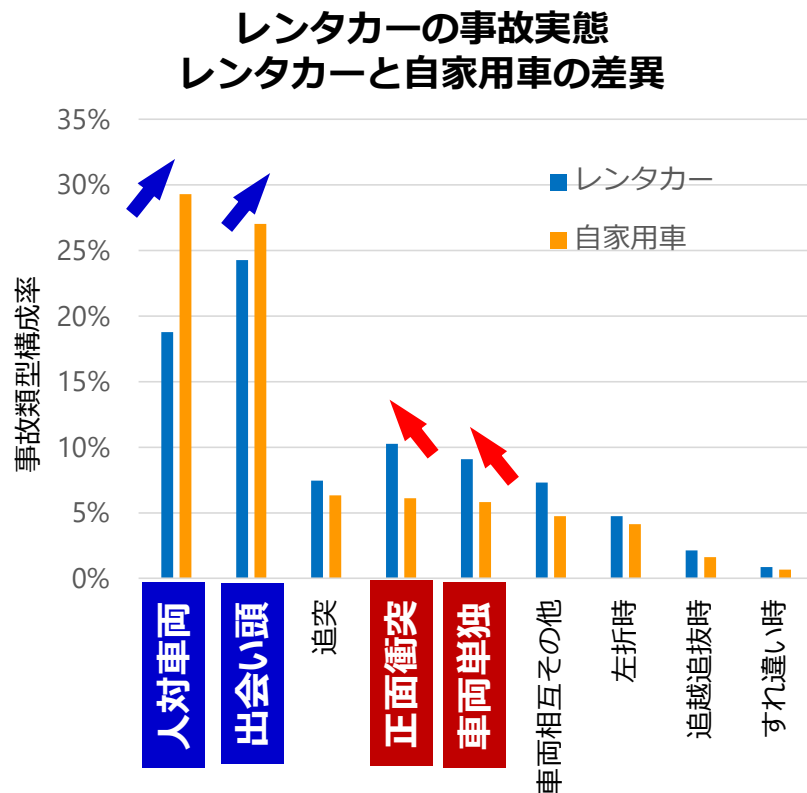
- ・ 横軸：運転免許経過年数（「5年以上10年未満の構成率」－「1年未満の構成率」）
- ・ 縦軸：居住地と事故発生地（「不一致の構成率」－「一致構成率」）
- ・ バブルサイズ：自家用車の死亡重傷事故件数

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.3 運転者の特徴と事故との関連性確認

■ 事故類型



自家用車運転者データ

- ・ 運転免許経過年数が短く、
居住地と事故発生地の不一致が高い
= 自家用車運転者に対するレンタカー運転者の特徴
→ 正面衝突、車両単独 が高い
- ・ 運転免許経過年数が短くなく、
居住地と事故発生地の一致が高い
= レンタカー運転者に対する自家用車運転者の特徴
→ 人対車両、出会い頭 が高い

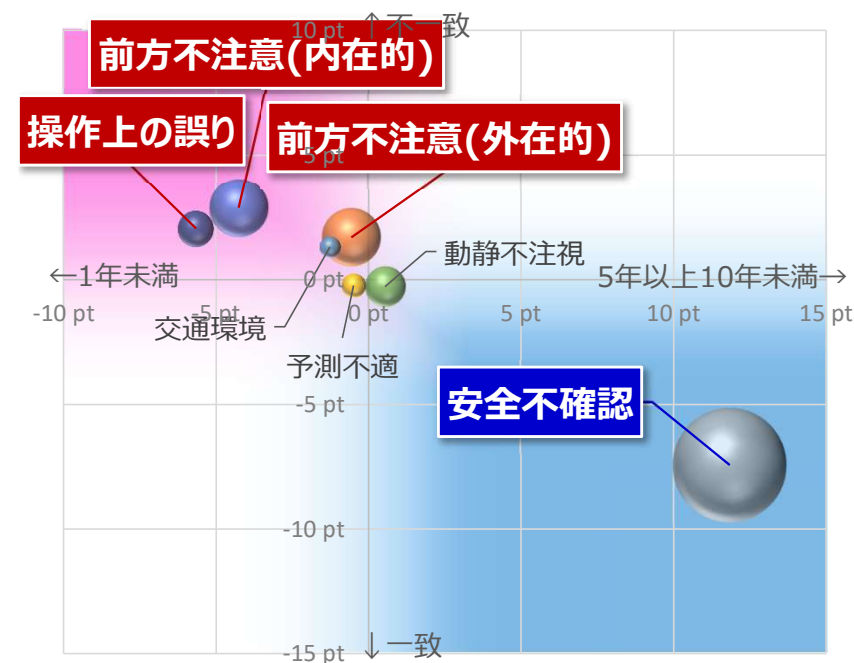
レンタカーと自家用車との差異と同様の傾向である。

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.3 運転者の特徴と事故との関連性確認

■ 人的要因



自家用車運転者データ

- ・ 運転免許経過年数が短く、
居住地と事故発生地の不一致が高い
= 自家用車運転者に対するレンタカー運転者の特徴
→ 前方不注意(内在的、外在的)、操作上の誤り が高い
- ・ 運転免許経過年数が短くなく、
居住地と事故発生地の一致が高い
= レンタカー運転者に対する自家用車運転者の特徴
→ 安全不確認 が高い

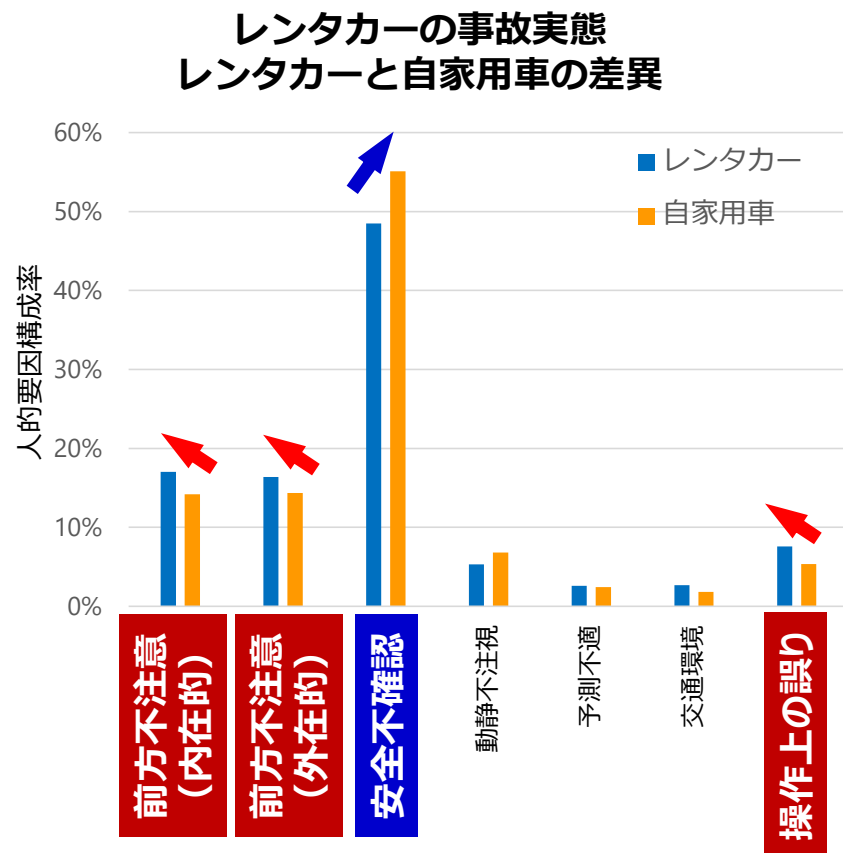
- ・ 横軸：運転免許経過年数（「5年以上10年未満の構成率」－「1年未満の構成率」）
- ・ 縦軸：居住地と事故発生地（「不一致の構成率」－「一致構成率」）
- ・ バブルサイズ：自家用車の死亡重傷事故件数

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

3.2.3 運転者の特徴と事故との関連性確認

■ 人的要因



自家用車運転者データ

- ・ 運転免許経過年数が短く、
居住地と事故発生地の不一致が高い
= **自家用車運転者に対するレンタカー運転者の特徴**
→ 前方不注意(内在的、外在的)、操作上の誤り が高い
- ・ 運転免許経過年数が短くなく、
居住地と事故発生地の一致が高い
= **レンタカー運転者に対する自家用車運転者の特徴**
→ 安全不確認 が高い

レンタカーと自家用車との差異と同様の傾向である。

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.2 運転者の特徴と事故との関連性

(これまでの整理)

自家用車運転者データから得られた

- ・ 事故類型・人的要因と
- ・ 「運転免許経過年数」・「居住地と事故発生地の一致/不一致」

との関連性は、

レンタカーと自家用車との間で生じている差異と同様の傾向であることが確認できた。



レンタカーと自家用車との間で生じている事故類型・人的要因の差異は、
レンタカー運転者の特徴に起因している。



(これから検討)

レンタカーの事故防止には、事故要因を把握した上で対策を講じる必要がある。

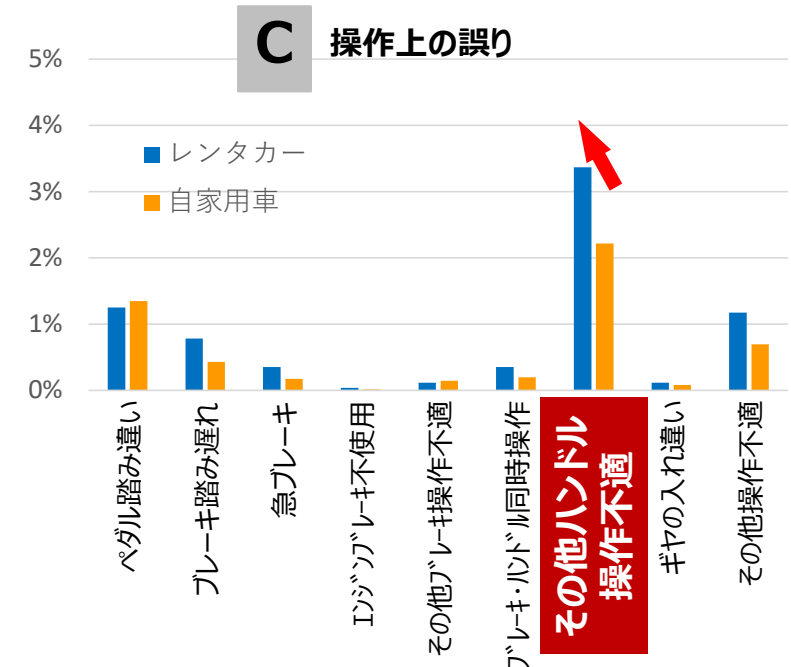
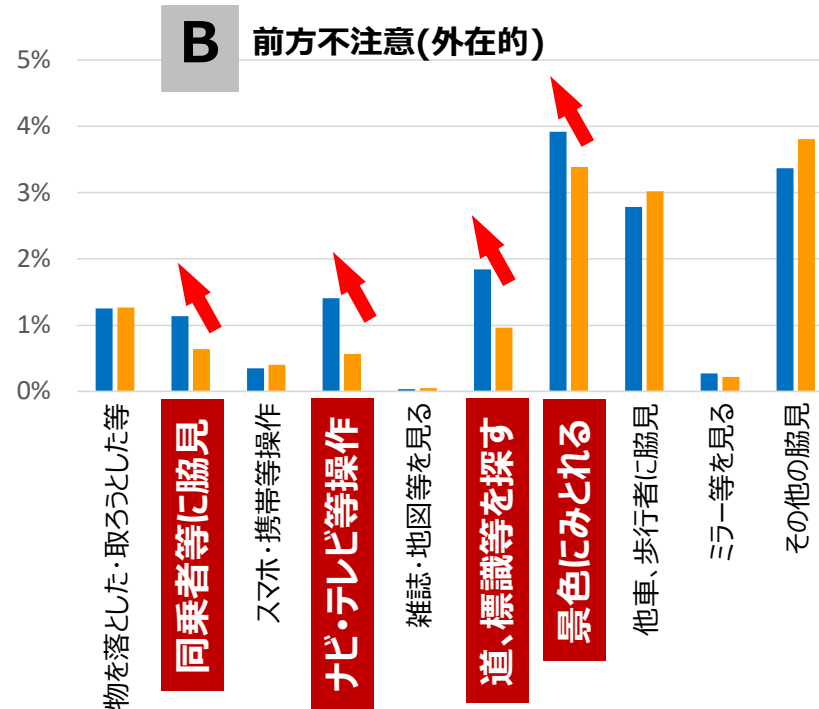
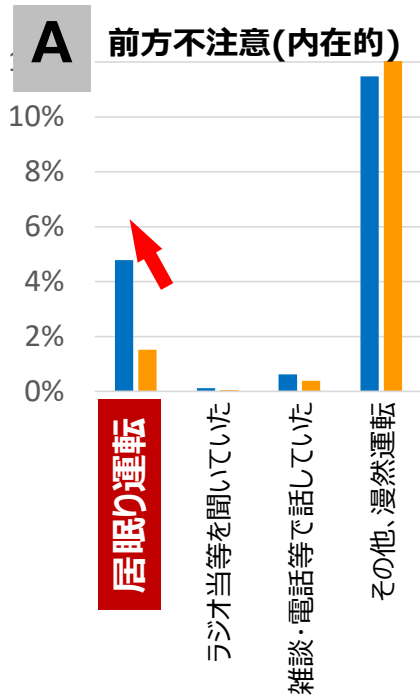
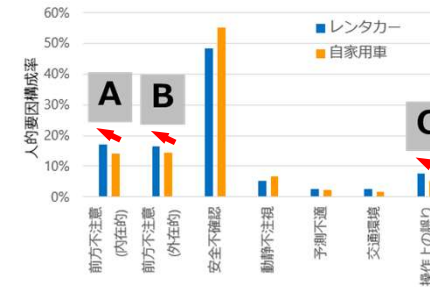
そこで、運転者の特徴である

「運転免許経過年数」と「居住地と事故発生地の関係」
に着目し、人的要因を詳細に分析する。

3. 死亡・重傷事故の特徴

3.3 人的要因の深掘り

自家用車より構成率が高い3項目の内訳
構成率が高い小項目は6項目



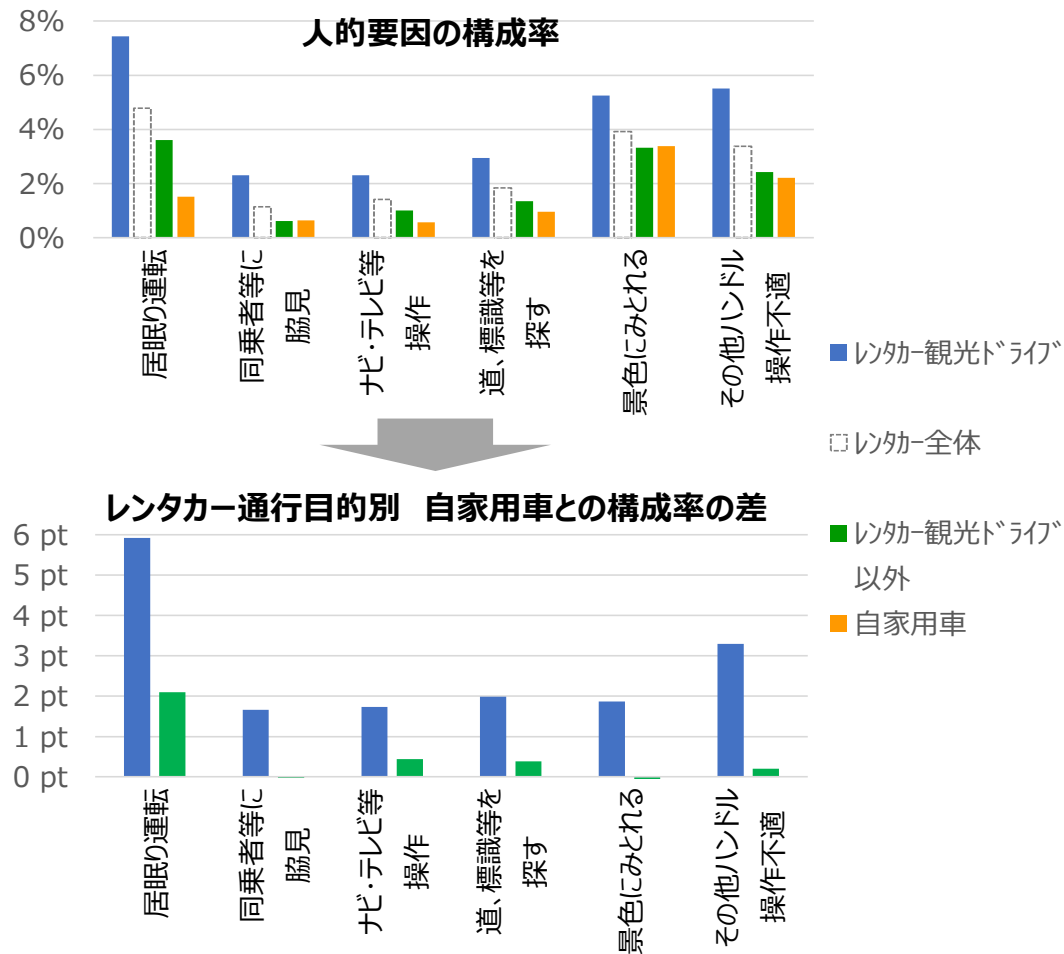
3. 死亡・重傷事故の特徴

3.3 人的要因の深掘り

自家用車より構成率が高い6項目について、通行目的別に自家用車と比較

- ・6項目全てで、観光ドライブが高い
- ・居眠り運転のみ、観光ドライブ以外 も高い

	観光ドライブ	観光ドライブ以外
居眠り運転	✓	✓
同乗者等に脇見	✓	
ナビ・テレビ等操作	✓	
道、標識等を探す	✓	
景色にみとれる	✓	
その他ハンドル操作不適	✓	



構成率が高くなる背景を明らかにするため、

- ・「運転免許経過年数：5年以上/5年未満」
- ・「居住地と事故発生地の関係：一致/不一致」に区分して比較する。

3. 死亡・重傷事故の特徴

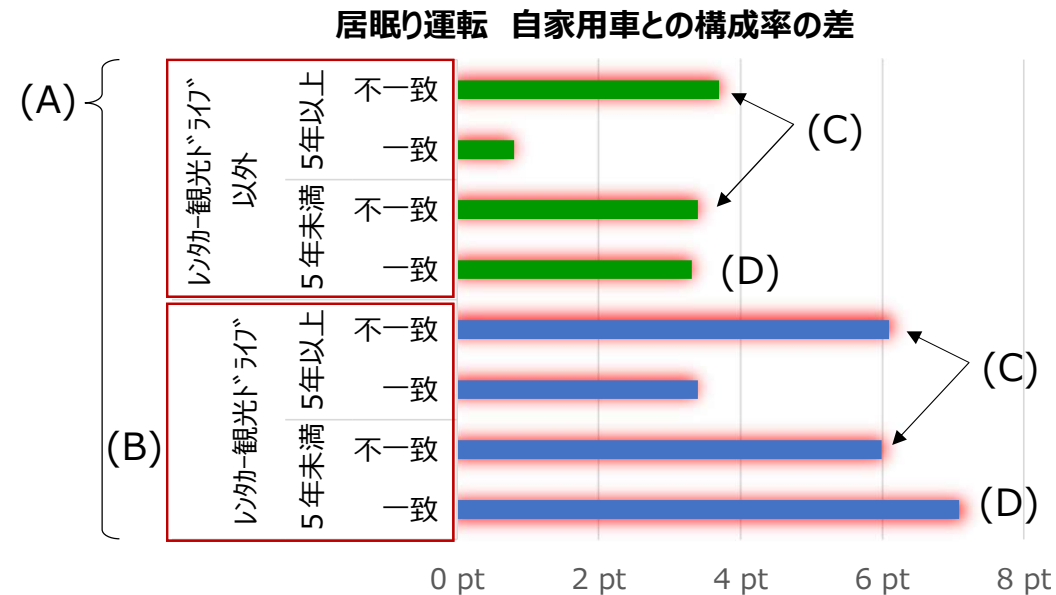
3.3 人的要因の深掘り

■ 居眠り運転

- ・ レンタカー全般で高い(A)
- ・ 観光ドライブは、これ以外よりも高い(B)
- ・ 居住地と事故発生地の不一致が高い(C)
- ・ 運転免許経過年数 5 年未満では、居住地と事故発生地が一致でも高い(D)



- ・ 不慣れな車両での運転は、疲労が蓄積しやすい可能性がある。(A)
- ・ 観光ドライブ時は過密な予定となりやすく、疲労が蓄積しやすい可能性がある。(B)
- ・ 長距離運転により、疲労が蓄積する。(C)
- ・ 運転経験の浅い者は、疲労が生じやすい可能性がある。(D)



3. 死亡・重傷事故の特徴

3.3 人的要因の深掘り

■ 同乗者に脇見

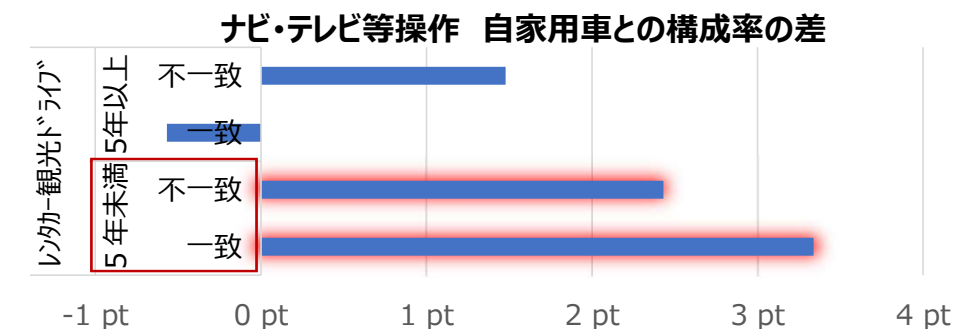
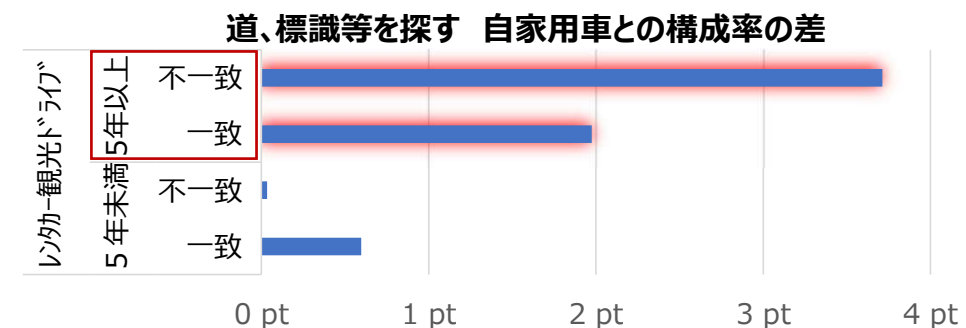
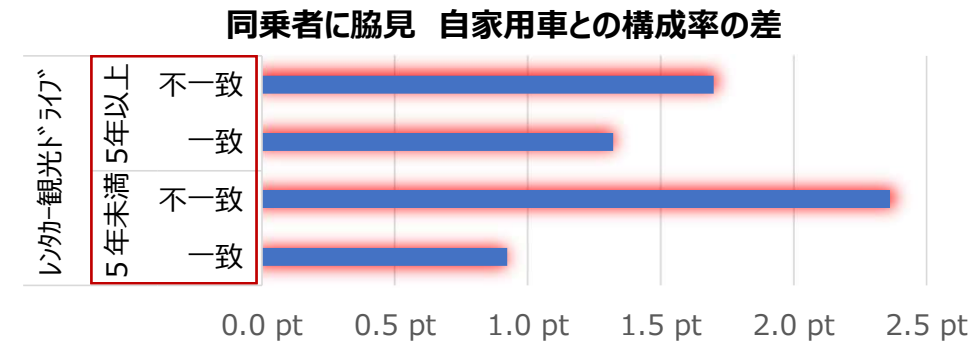
- ・居住地と事故発生地の関係、
運転免許経過年数に関わらず高い
- 余暇行動中の緊張感の低下から、
同乗者に注意が向きやすい可能性がある。

■ 道、標識等を探す

- ・居住地と事故発生地の関係に関わらず、
運転免許経過年数 5 年以上が高い

■ ナビ・テレビ等操作

- ・居住地と事故発生地の関係に関わらず、
運転免許経過年数 5 年未満が高い
- 土地勘がない地域では、案内標識やナビに
注意が向きやすい可能性がある。



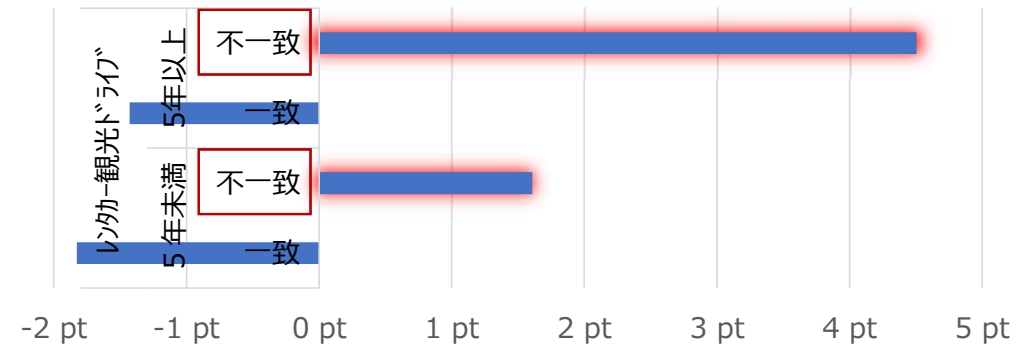
3. 死亡・重傷事故の特徴

3.3 人的要因の深掘り

■ 景色にみとれる

- ・ 運転免許経過年数に関わらず、居住地と事故発生地の不一致が高い
- ➡ 余暇行動中の緊張感の低下もあり、初めて目にする景観に注意が向きやすい可能性がある。

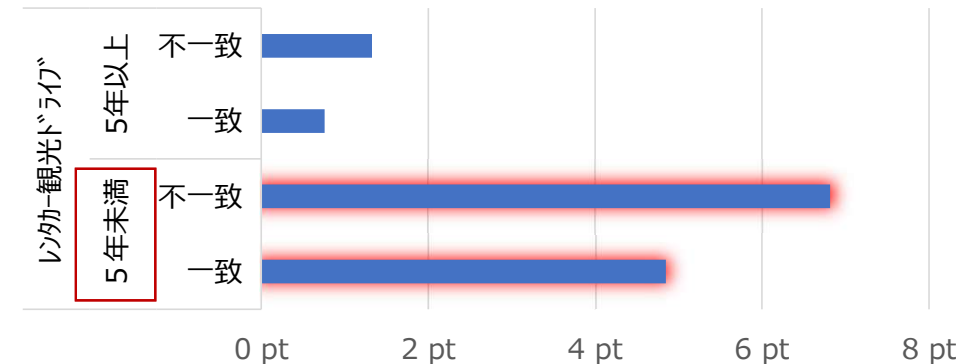
景色にみとれる 自家用車との構成率の差



■ その他ハンドル操作不適

- ・ 居住地と事故発生地の関係に関わらず、運転免許経過年数 5 年未満が高い
- ➡ 運転経験が浅いと、運転技量が未熟で適切な運転操作ができない可能性がある。

その他ハンドル操作不適 自家用車との構成率の差



3. 死亡・重傷事故の特徴

3.3 人的要因の深掘り

レンタカーによる死亡・重傷事故で、自家用車よりも構成率が高い人的要因の背景要因
居眠り運転

- ・ 不慣れな車両での運転は、疲労が蓄積しやすい可能性がある。
- ・ 観光ドライブ時は過密な予定を組む傾向があり、疲労が蓄積しやすい可能性がある。
- ・ 長距離運転により、疲労が蓄積する。
- ・ 運転経験の浅い者は、疲労が生じやすい可能性がある。

脇見

- ・ 余暇行動中の緊張感の低下から、同乗者に注意が向きやすい可能性がある。
- ・ 土地勘がない地域では、案内標識やナビに注意が向きやすい可能性がある。
- ・ 訪問先で初めて目にする景観に、注意が向きやすい可能性がある。

ハンドル操作不適

- ・ 運転経験が浅いと、運転技量が未熟で適切な運転操作ができない可能性がある。

目次

1. 背景・目的
2. 運転者の特徴
3. 死亡・重傷事故の特徴
- 4. 死亡・重傷事故の防止策**

4. 死亡・重傷事故の防止策

■ 運転者の行動

・ 居眠り運転の防止

『**不慣れな車両**や**慣れない運転**、**長距離運転**により**疲労の蓄積**が生じる可能性がある。』

過密な運転スケジュールを避けるとともに、**運転途中には計画的に休憩を取得する**。

・ 脇見運転の防止

『余暇行動中は**緊張感の低下**が生じ、**同乗者や景観への脇見**が生じる可能性がある。』

また、**土地勘のない地域**では、**走行経路の検索**に伴い標識やナビに注意が向く可能性がある。』

目的地までの**走行経路は運転開始前に確認**し、運転中は同乗者との**過度なコミュニケーションを避ける**。また、景観を鑑賞する際は**車両を停車させる**ことを徹底する。

・ 運転技量に応じた利用

『運転免許経過年数が短い者の利用が多く、**運転技量の未熟さ**が操作の誤りに繋がる可能性がある。』

運転技量に不安がある場合は、**交通量の少ない場所や時間帯**を選んで利用する。

4. 死亡・重傷事故の防止策

■ レンタカー事業者の対応

・ 利用者への注意喚起

予約時や貸出時に、事故の統計データに加え、事業者が把握している個々の事故事例や発生傾向、およびこれらを踏まえた注意ポイントを利用者へ周知し、事故防止に向けた注意喚起を行う。

・ 先進安全技術の導入

先進安全技術を搭載した車両の導入を促進する。

